

九州地域 ICT 利活用調査研究会 実施概要

趣旨

九州内の複数の自治体において、ICT利活用に関する実態調査を進め、地域における様々な現状課題を分析し、当該結果を今後の九州地域の更なるICT利活用拡大に寄与。

活動概要

タウンミーティング等、できる限り直接のヒューマンコミュニケーションを中心とした活動手法をベースとする。必要に応じ実証実験等、利活用に関する具体的なデモンストレーションも交え、より実効的な成果をあげる。

現状	自治体選定	利活用調査研究	展開・フィードバック
			
<p>自治体が抱える課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 少子高齢化 教育、医療、福祉 ② 地域活性化 財政、地域産業 ③ 安全、安心 ・防災、見守り ④ ICT普及 ・ICT利活用 <p>などなど・・・</p>	<p>自治体選定条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 以下の特色を有する地域 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併地域 ・中山間地域 ・離島 ② ICT利活用が課題 <p>* 22年度は佐賀県佐賀市 富士町、鹿児島県肝付町を 対象</p>	<p>利活用調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティング ・アンケート ・利活用デモ、実験 ・ワークショップ型啓発イベント <p>※地域関係者と協力連携しながら取り組んでいく</p>	<p>調査対象自治体拡大 及び成果のフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 調査自治体の拡大 ② フィードバック <ul style="list-style-type: none"> ・成果結果を共有、フィードバック

実施体制

(1) KIAIに新たに設置される企画検討部会で本研究会における基本的な事業計画等を検討。

(2) 研究会メンバーは、部会メンバーを中心に構成し、具体的には以下のとおり。

コアメンバー：九州経済連合会、九州総合通信局(オブザーバー)、事務局:KIAIで構成し、調査会における企画、調査、報告等すべての事項で中心的に活動する。

エリアメンバー:自治体関係部署、地域キーマン等で構成し、具体的な活動(タウンミーティング等)を展開する際に、コアメンバーと協力連携してその活動を支援する。

